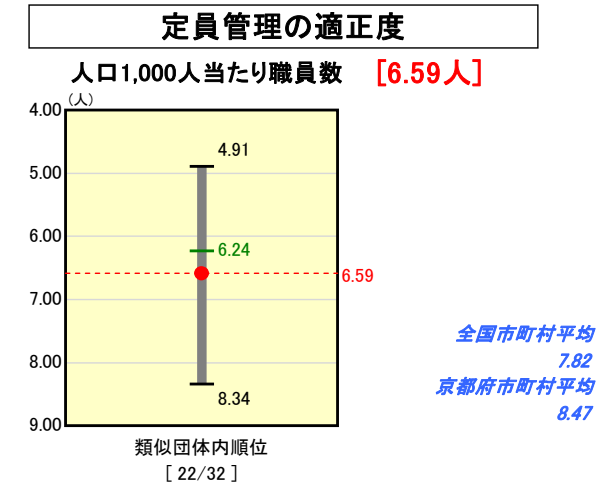
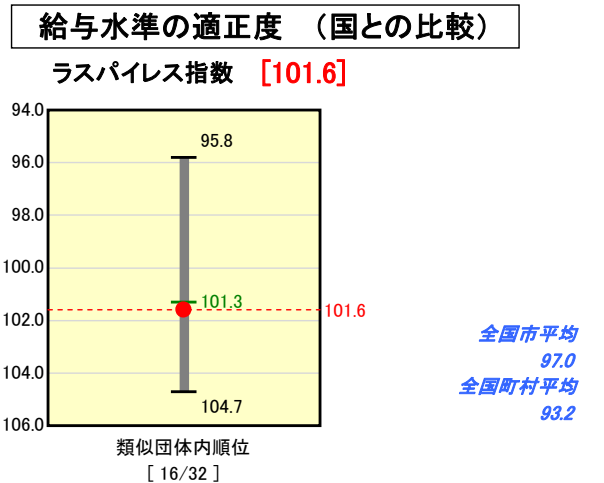
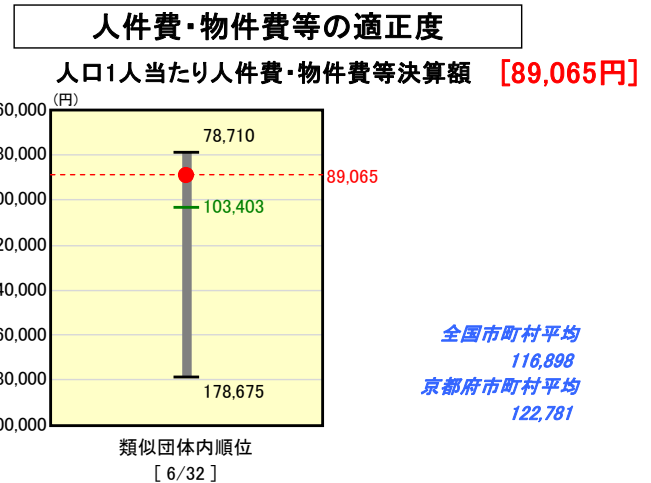
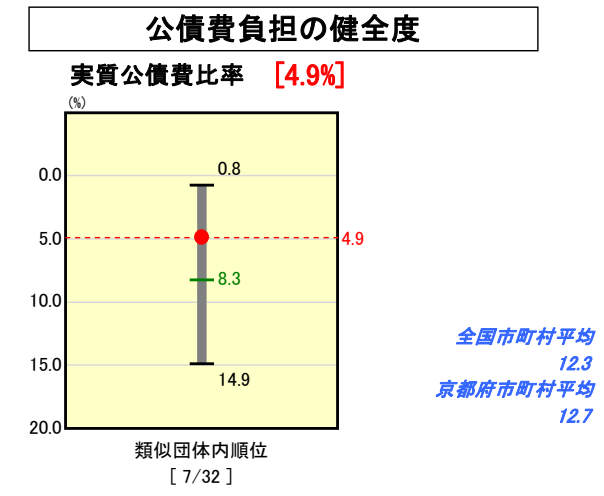
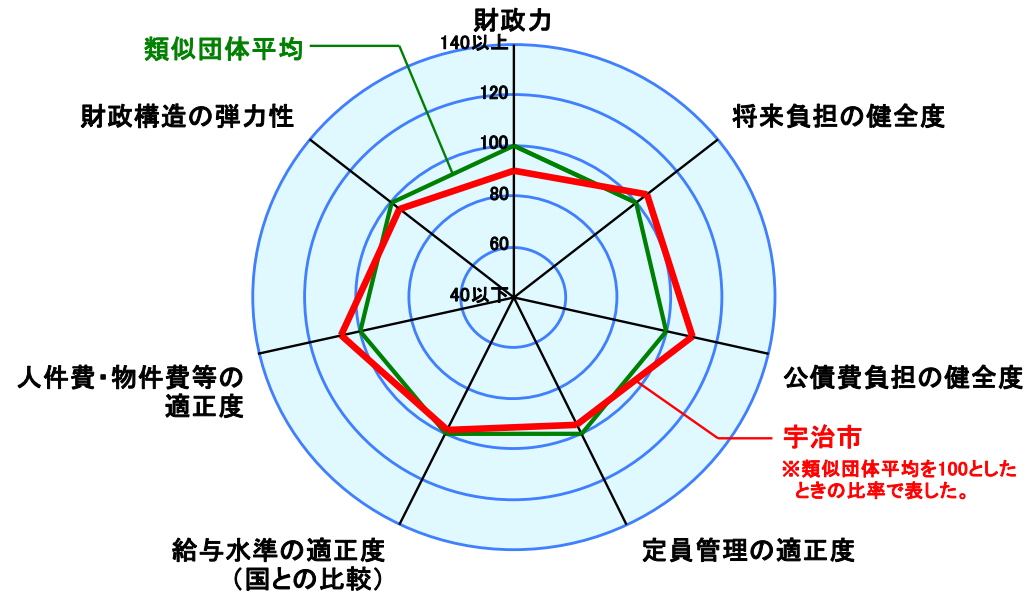
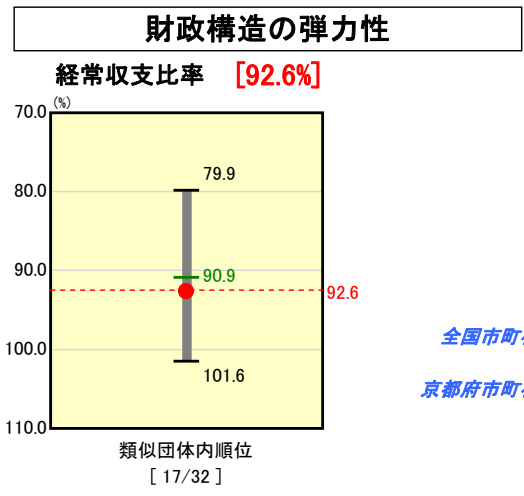
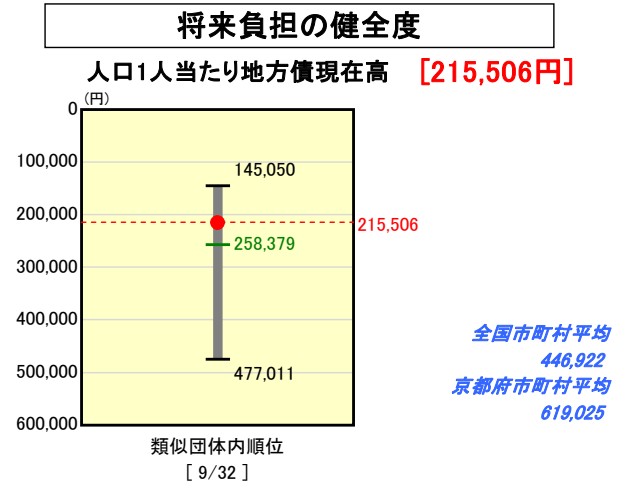
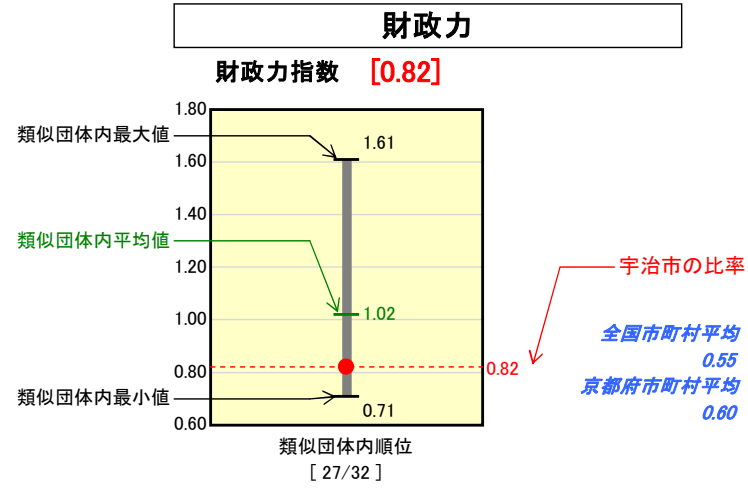


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 京都府 宇治市

人口	190,018 人(H20.3.31現在)
面積	67.55 km <sup>2</sup>
歳入総額	54,753,177 千円
歳出総額	53,966,279 千円
実質収支	432,721 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
 税収等の収入の伸びにより、平成18年度より若干の回復がみられたものの、未だ類似団体内平均値より大幅に低い値となっており、税徴収率の向上等により収入の確保・税財政基盤の強化等にさらに努めていくとともに、人件費や公債費の抑制等、歳出の見直しにも取り組んでいきます。

**【経常収支比率】**  
 扶助費の伸び等により、平成18年度から悪化し、類似団体内平均値よりも高い値となっているため、定員管理計画等の推進により人件費の削減を図るなど、行財政改革への取り組みを通じてさらなる義務的経費の削減を図り、経常収支比率の適正化に努めていきます。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
 従来から取り組んでいる事務的経費等の削減により、類似団体内平均値より低い値となっており、引き続き歳出の適正化に努めていきます。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
 健全財政を堅持するために市債の発行は抑制しているため、類似団体内平均値より低い値となっており、引き続き適正な市債の発行に努めていきます。

**【実質公債費比率】**  
 実質公債費比率についても類似団体内平均値より低い値となっており、健全財政を堅持するため、引き続き適正な市債の発行、債務負担行為の設定に努めていきます。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
 定員管理計画に基づき、人件費の抑制等に取り組んできているものの、依然として類似団体内平均値よりも高い値となっているため、民間活力の活用等を図る中で、一層の効率化に努めていきます。

**【ラスパイルズ指数】**  
 一定の人件費削減の取り組みを続けてきたものの類似団体内平均値よりも高い値になっており、人件費については引き続き適正化に努めていきます。